

「令和5年度仁淀川の森と水を考えるシンポジウム」  
～豊かな海、豊かな川は、健やかな森、山から始まる～  
が開催されました！

日時：令和5年8月26日(土) 午後1時50分～4時30分

場所：佐川町立「桜座」

主催：仁淀川漁業協同組合

共催：仁淀川流域交流会議、仁淀川清流保全推進協議会

8月26日(土)、佐川町立「桜座」で標記シンポジウムが開催されました。仁淀川漁業協同組合主催で、今年で17回目の開催。

同協同組合では、高知県、佐川町と協力し、子ども達の意見を取り入れた「親水公園」を佐川町尾川地区に実現したいと思っています。シンポジウムではこの実現に向けた一步として、徳島大学の浜野龍夫教授の基調講演「尾川で親水公園に集まろう」、高知県中央西土木事務所越知事務所の講演「柳瀬川治水親水対策」をいただき、流域の皆で親水公園について考えていくこととしました。

基調講演では、親水公園候補地を事前に下見した浜野教授から、候補地のロケーションを活かす形で複数の提案をいただきました。今後、治水安全、整備予算、維持予算、費用対効果を考えながら、この構想を膨らませていくこととしました。人が集う親しみやすい川は創造することができる。安全・確実に川へ入っていける場所を作り、人々が川を身近に感じ親しみ楽しむことで、その川、その土地の価値が上がる。情景をイメージし幸せな気持ちになりました。

県中央西土木事務所越知事務所の講演では、治水・利水・環境の3つの調和の取れた河川改修を目指し、多自然型川づくりの視点や丁寧な環境調査を行いながら、日々職務にあたっていることの紹介がありました。

